



創立 153 周年



さくら

校 訓「ほんきで なかよく きまりよく」
 学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」
 重点目標「しなやかに生きる子」



～実り豊かな後半戦へ向けて～

涼やかな秋風が吹き抜け、朝夕は心地よい季節となりました。

先日 9 月 26 日（土）に行われました PTA 奉仕作業では、御多忙の中、多くの保護者の皆様、地域の皆様に御協力いただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで校内が大変きれいになり、気持ちよく秋の深まりを迎えることができております。

さて、本校はまもなく 1 学期を締めくくり、2 学期（後半戦）へと向かいます。子供たちがこの恵まれた環境の中で、ますます多くのことを学び、健やかに成長できるよう、職員一同あたたかく見守ってまいります。

また、7 月にご協力いただきました「学校評価アンケート」につきましても、重ねて御礼申し上げます。皆様から寄せられた貴重な御意見を真摯に受け止め、桑村小学校がさらにより良い学校となるよう、今後も改善に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ御支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。（※アンケート結果につきましては、裏面をご覧ください。）



9/26 奉仕作業の様子



主な行事予定

10月

日	曜	給	週	行事予定	日	曜	給	週	行事予定
1	木	○	A	6 年修学旅行 1 日目 5 年稲刈り	17	土			体育館であそぼー
2	金	弁	A	6 年修学旅行 2 日目	18	日			
3	土				19	月	○	B	代表委員会 運動会総練習予備日
4	日				20	火	○	B	
5	月	○	B	運動会係打合せ	21	水	○	B	桑村道場
6	火	○	B	水曜日課 5 時間	22	木	○	B	3 年スーパー見学
7	水	○	B	火曜日課 5・6 時間	23	金	○	B	運動会前日準備
8	木	○	B	音楽コンサート（桑っ子委員会）委員会活動	24	土	弁	B	運動会
9	金	○	B	特別日課 5 時間 1 学期終業式	25	日			運動会予備日
10	土				26	月			運動会振替休日
11	日				27	火	○	A	1 年生活科秋見つけ
12	月			スポーツの日	28	水	○	A	持久走練習開始 避難訓練 桑村道場
13	火	○	A	2 学期始業式 任命式 3・4 年枝豆収穫	29	木	○	A	
14	水	○	A	桑村道場	30	金	○	A	音楽鑑賞教室
15	木	○	A	運動会係打合せ 3 年生 5 時間授業	31	土			
16	金	○	A	運動会総練習					

※保護者の皆様への迅速な情報共有と利便性向上、環境に配慮したペーパーレス推進のため、2 学期より「学校だより」、「給食献立表」等の配付をマチコミでの配信へ移行いたします。

よいよい学校を目指して ～R8 学校評価アンケート(前期)集計～

学校では、7月に行った児童、保護者、教職員による学校生活に関するアンケート結果を基に、職員会議、また、学校運営協議会において話し合いを行いました。みんなにとって「よいよい学校」を目指し、今後も改善を重ねた教育活動を推進していきます。



質 問 項 目		児童	保護者	教職員
1	学校が楽しい。	96	97	100
2	桑っ子活動（遊び、清掃、原生林探検やリレー会など）に楽しく参加している。	94	100	100
3	地域やうちの人は、学校のいろいろな活動に協力してくれている。	94	98	100
4	いろいろな教職員と関わることができている。（チーム担任制）	94	98	100
5	先生たちは、お子さんのよいところを認めている（子供理解）	97	98	100

1「学校が楽しい」の項目は、児童・保護者・教職員の三者ともに95%を超える非常に高い数値を示しております。子どもたちの安心感や登校の楽しさといった、高い満足感を支えているのが、桑村小ならではの体験活動・桑っ子活動や校内の温かい人間関係や手厚いサポート体制であると考えられます。

《本校の特色ある教育活動について》

2.体験活動の豊かな価値 異学年と関わる桑っ子活動が盛んなことが、桑村小の強みの一つです。縦割りグループで行う清掃や遊び、また、図工や生活科の作品を介した交流等といった学年間の交流を活発にし、別学年や様々な職員から認められる場面を設定してきました。これらの活動を通じ、自分の良さや頑張りに気づき、友達の良さも認め合える心が育まれています。

3.地域・保護者との連携 年間を通して桑村道場（水曜放課後実施の学習支援）や読み聞かせ（マルベリーの皆様方）の活動、奉仕作業や桜の剪定などの環境整備、お茶摘みや稲作体験等の教育体験活動において、地域の皆様、PTAの皆様に大変お世話になっております。「みんなで採った桑の実、お茶等が形を変えて子どもたちに届く食育や、土曜日の体育館開放、地域の皆様・スポーツ少年団・園児との交流など、大勢の方と関わる体験機会が多く、桑村小ならではの環境に親子で感動している」といううれしい声もいただいております。保護者の皆様、地域の皆様の支えあつての桑村小です。

4・5.チーム担任制・教科担任制の定着 「様々な考え方や多様な視点をもつ大人と関わることで、子どもにとって良い刺激や学びの機会になっている」と、複数の教員で多角的に温かく見守る体制や丁寧な対応に強い信頼をいただいております。児童も話題に応じて先生に相談できる安心感を得ています。一方で、「学級全体が一つにまとまる感覚や、1人の担任の先生と年間を通して熱く深く結びつく機会の減少が心配」という声もいただいております。チーム担任制は「3倍の目で子どもを温かく見守る」強みをもつ一方で、一人ひとりとの情緒的な結びつきも極めて重要であると認識しております。学年行事や桑っ子（縦割り）活動などを通じて学級全体の一体感を育むとともに、定期的な個別の対話時間を設け、子どもが心を開ける先生と十分に関われる機会を保障していきます。

《よりよくするために》

指導ルール統一 「先生ごとのルールのズレ」による子どもの戸惑いを解消する必要があります。タブレットの使用マナー、靴揃え、挨拶、整理整頓等の指導基準を全教職員で統一し、どの先生が関わっても一貫した指導・声かけが行われる環境を整え、子どもたちが安心して過ごせるようにいたします。

自分の思いを伝える力の育成 相手を尊重して思いを伝える力や言葉遣いの改善が課題です。少人数ならではの温かさがある反面、多様な相手に意見を伝える機会の不足が挙げられています。今後は、合同プール等で関わりのある丹那小など近隣校との交流を深め、適度な緊張感の中で「伝えたい」意欲と思考力・表現力を高めます。さらに、これまでのピアサポート（仲間どうしの支え合い）やSST（ソーシャルスキルトレーニング）に加え「静岡県版SEL（人間関係づくり）」を体系的に導入し、相手を思いやる伝える力と感謝の心を育んでまいります。

地域、保護者の皆様のご支援に応えることができるよう、「チーム桑村小」で取り組んでいきます。今後ともよろしくお願いいたします。（文責：小川）